

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1774号	氏名	田中悟郎
論文審査担当者		主査教授	篠原 一之
		副査教授	北岡 隆
		副査教授	森 望
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、統合失調症患者を対象に視覚情報処理過程の障害についての研究を行ったもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 特徴統合理論によると、視覚情報処理は選択的注意の関与の有無により前注意過程と集中注意過程に大別される。本研究は、統合失調症患者の前注意過程の機能を特徴探索条件によって、集中注意過程を統合探索条件によって検討しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、統合失調症患者の前注意過程は健常者とほぼ同程度に機能しているが、集中注意過程は障害されていることを示した。妄想、幻覚などの陽性症状のメカニズムではなく、それら症状の根本にある統合失調症患者の認知メカニズムの一端を明らかにしたことは、統合失調症患者の基本的脳内メカニズム解明研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は統合失調症における認知基盤の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			